

筑波技術大学卒業生アスリート「スポーツとキャリア発達」

2019年1月27日（日）

岡部祐介氏（産業技術学部3期生） 陸上競技

皆さんこんにちは。今回のテーマとして私のチャレンジということでこれから短い時間で
すので簡単にまとめてお話ししたいと思います。改めて自己紹介をしますと、岡部祐介と申
します。ここ筑波技術大学を7年前に卒業しました。機械の勉強をしていました。中学校2
年生の頃から陸上を始めて今年で18年目になります。デフリンピックには2回参加しまし
た。趣味はスタバでまったりすることです。

大学時代の話をする前に、そもそもどうやって陸上に会ったのかというところを少しお
話ししたいと思います。中学校2年生の時にろう学校に転校したのですが、部活が三つしか
ない中から陸上を選びました。初め50メートル走った時にすごく負けて悔しかったとい
うことをすごく今もはっきり覚えています。きつい練習で毎日しごかれていてすごく苦し
かったですし、泣くこともたくさんありました。体罰まではいかなかったですけど、愛情の
ある愛の鞭というのたまにありました。苦しくてやめたいなと思った時に、先生や両親か
らその気持ちはよく分かるけど、最後まで努力して頑張ってみたらいいことがあるよとい
うアドバイスももらいました。その言葉が心を強く動かしてくれて練習にも耐えていくこ
とができました。中学校3年生で初めて東北のろう学校の陸上大会で200メートルの競技
に参加しました。そこで初めて優勝することができました。そのように結果を出せたとい
うことがすごくうれしかったことをよく覚えています。それで夢や目標ができて今その思
いを持ち続けて頑張っています。

スライド戻ると、大学に入った時にはここに陸上の活動はなかったので、隣の筑波大学の学
生たちと一緒に練習をしていました。合宿に参加したり、大会に出たりということを知りえ
る学生とコミュニケーションを取りながらやってきました。それで陸上の技術も伸びたし、
交流関係も広がって、今社会人になってもその時の友人とは固い絆で結ばれていると
思っています。信頼できる友人もたくさんできました。本当に今になってもいい関係を継続
できていると思います。

前の仕事は基本的に平日夜まで仕事をして、そしてそのあと練習をするという生活でした。
その時部長は元陸上選手だったので非常に理解があって、いろいろなアドバイス、サポート
をしてもらいました。ただ、やはり仕事が終わったあとに練習に行くことはできるんです
が、モチベーションを持ち続けることが非常に難しかったです。会社の同期の仲間は応援し
てくれていたので、そこでなんとか頑張ることができました。

5年目を迎えた頃にもっと陸上を練習する環境を求めていきたいなと転職を考えました。ライフネットという保険会社に5年目転職をしました。そこで仕事と陸上と両立して今やっています。今の職場の環境というのは、基本的に午前中は陸上の練習をして午後仕事に行きます。その陸上の練習も仕事としてやっています。世界大会などの遠征費に関してもサポートをもらえているので、前職に比べるとすごく恵まれています。また、珍しいと思うんですが正社員として雇用されているので、陸上をやめたあともこの会社で仕事を続けることができるので、将来に対する不安というのもなく、今陸上に専念することができています。

広報活動として講演ですとか一般と違ってろうの競技で使うフラッシュライトの普及の活動などもしています。また、写真も撮ってます。また、事業団の大会に出た時にも結果を出すことができ、講演や取材などに応じて広報活動をしています。

陸上をやってきたおかげで、このようないろいろな機会を得ることができていると思います。私自身だけではなくて、ろう者に対する理解を広めていったり、そのランプのことを知ってもらうような活動に結びつけていることができてるかなと思います。去年の夏にライフネット生命の10周年記念イベントとして、デファスリートに関する教室を開きました。私だけでそういったものを担うのが初めてだったので不安もあったんですけど、自分が夢を実現できて非常にうれしかったです。内容というのは、聞こえない子どもたちにスポーツの良さを知ってもらう、楽しんでもらえるというような内容でしました。これが参加していただいた子どもたちです。すごくかわいかったです。

今苦労していることは、まず時間の管理です。

それから仕事のこと、

そしてコミュニケーションの3点です。

今、私は横浜に住んでいるので神奈川で練習することが多いんですが職場は東京です。練習したあと東京まで通勤をするという、その通勤時間を取られてしまっています。マッサージとかコーチとの予約を取る、そういった時間の調整に苦労しています。

また、業務の内容については、取材とか、ろうの子どもたちにいろいろと情報発信するため

に SNS を使った広報も考えているんですけど、そういったところがすごく苦手なので難しいなと思っています。練習をしたあと、仕事をする時間は非常に短く夜 7 時までなので、7 時に終わったあと家に帰ってまた仕事の続きをするということもあります。

三つ目にコミュニケーションについては、今会社の中にもろう者は私 1 人だけなので筆談を使っています。手話でコミュニケーションできる人も少しはおりますけど、ほとんどは筆談を使っていますので、時間もかかりますし誤解を生じることもあります。ただ最近は手話の遠隔支援サービス、スカイプを使って打ち合わせの時に手話を使えるようなサービスも少しずつ使い始めて解決しつつあります。ここで仕事を始めて 7 年目になりますが、日本語が苦手な部分があるので、文章で理解するところや伝えたりするところが苦手で、企画書を作ったりするような仕事で苦勞しているんですが、少しずつ積み重ねながらやっけてられていると思っています。

これからの目標ですが、トルコのデフリンピックでメダルを取ることができなかったので、4 年後にまたリベンジをしたいという気持ちでいます。これからの夢ですが、引退したあとはろうの子どもたちにも夢を与えられるようになりたいなと思っています。これまでの経験を生かしてこれからの聞こえない子どもたちに耳が聞こえなくても大丈夫なんだよということを伝えていきたいなと思っています。皆さんぜひ応援のほどよろしくお願いします。これで発表を終わりにします。ありがとうございました。